

※情報共有メールは、プラチナサポートの特典となっております。プラチナサポート加盟店以外への共有、流用等は禁止されております。

※配信当時の内容のため、現状の内容と異なる場合もございます。予めご了承ください。

プラチナサポート情報共有メール

No.	674	配信日	2026/4/6	ジャンル	商品知識
テーマ	GMT マスターII 20万急騰の謎				

本部の直営店チラシにおいて、GMT マスターII BLRO の参考買取価格に異例の動きが出ています。

4/2 配布チラシには **380 万円**（'26/2/9 自社販売実績）、

3/2 配布チラシには **360 万円**（'25/12/9 自社販売実績）と記載。

自社販売実績ベースで、実質わずか **2 ヶ月間で 20 万円も高騰**していることが分かります。

他のモデルが横ばいの中、なぜ GMT マスターII だけがこれほど突出しているのか。

4/14 の W&W 新作発表を控え、現場で語るべき真実を共有します。



【3/2 チラシ】



【4/2 チラシ】

1. 「2 月実績」で 380 万に到達した明確な裏付け

2 月下旬、世界的な時計ビジネス誌である『WatchPro（ウォッチプロ）』は衝撃的な独自の取材レポートを報道しました。

- ・内容：複数の正規販売店への直接取材に基づき、「ロレックスが正規店に対し、今後のペプシ（赤青ベゼル）の納品はないと通知した」と報じています。
- ・現状：この「現場の事実」を察知した世界の投資家・バイヤーが、2 月に一斉に買い占めに走ったことで、需要が爆発し相場を押し上げました。

2. なぜ「GMT マスターII」だけが独歩高なのか？

4/14～4/20 開催の W&W で「廃盤」が有力視されています。

理由は、以下の 2 点が考えられます。

・製造難易度の限界（歩留まりの悪化）

1 枚のセラミックを赤と青に焼き分ける技術は極めて難しく、ロレックス社内で「採算が合わない」として生産を極限まで絞っている実態。

・新色「コーク（赤黒）」の特許取得

ロレックスが新たに「赤と黒」のベゼルに関する特許を取得したことが判明。製造が安定しない「ペプシ（赤青）」を廃止し、新作として「コーク」を投入する準備が整ったという見方。



3. トーク例

「お客様、チラシに掲載してある GMT マスターII の金額は 2 か月で約 20 万高騰しています。なぜかと言えば、2 月の時点で海外の正規店現場から『もう入荷しない』という情報が流れ、世界中で争奪戦が始まったからです。ただし、ご注意ください。380 万という数字は、来週 14 日の W&W 発表で『廃盤になる』という期待で膨らんだ最高値です。もし『継続』と発表されれば、この期待値分の 20 万円は一瞬で吹き飛びリスクがあります。『今この瞬間』こそが、最も損をしない出口ですよ。」